

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	福祉住環境論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	403号室
担当教員	田中 将士	実務経験とその関連資格	実務経験:身体障害領域・老年期障害領域で勤務し、住環境や福祉用具などにも携わる。			
《授業科目における学習内容》						
<p>国際生活機能分類(ICF)の環境因子に当たる物的環境には、住環境や福祉用具などがあり、その適切な調整は対象者の生活の自立や自律を支援する資源となる。そのことから生活環境の整備・調整において、作業療法士は大きな社会的役割をもつことは言うまでもない。本科目では、環境の視点から対象者を支援する専門家である福祉住環境コーディネーター2級認定資格の取得を目指す。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>期末試験(筆記試験86%)、小テスト・レポート10%、平常点(態度・準備)4%で評定する。</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>■テキスト:福祉住環境コーディネーター検定試験2級公式テキスト(東京商工会議所)、作業療法学 ゴールド・マスター・テキスト 日常生活活動学 ■その他:参考資料を随時配布します。■参考書:福祉住環境コーディネーター検定試験 2級一問一答&ポイントチェック 2022年版(ハウジングエージェンシー)</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>資格取得に向けて過去問を解いて理解していない部分を減らしていくことが必要。他の授業との関連を含め知識を広げていく</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<ul style="list-style-type: none"> 公式テキストの内容確認を計画的に行うため、毎回指定する範囲を課題として予習しておくこと。 本科目成績の合格レベルが、実際の認定資格試験の合格を保証するものではない。 						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	①福祉住環境コーディネーター2級認定試験の合格。		教科書、配布資料	事前学習 シラバスを読むしておく。(20分) 事後学習 配布資料の整理と復習、課題の演習を行う。(40分)	
	各コマにおける授業予定	オリエンテーション、過去問題演習(1回目分①) 福祉住環境コーディネーター2級検定試験の過去問題の演習と公式テキスト内容の学習ポイントを学ぶ。				
第2回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	①福祉住環境コーディネーター2級認定試験の合格。		教科書、配布資料	事前学習 次回学習範囲のテキストの一読。(20分) 事後学習 配布資料の整理と復習、課題の演習を行う。(40分)	
	各コマにおける授業予定	過去問題演習(1回目分②) 福祉住環境コーディネーター2級検定試験の過去問題の演習を行い(第1-5問)、対応する公式テキストの内容を押さえていく。				
第3回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	①福祉住環境コーディネーター2級認定試験の合格。		教科書、配布資料	事前学習 次回学習範囲のテキストの一読。(20分) 事後学習 配布資料の整理と復習、課題の演習を行う。(40分)	
	各コマにおける授業予定	過去問題演習(1回目分③) 福祉住環境コーディネーター2級検定試験の過去問題の演習を行い(6-10問)、対応する公式テキストの内容を押さえていく。				
第4回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	②福祉住環境整備の共通基本技術、生活行為別福祉住環境整備の手法について説明できる。		教科書、配布資料	事前学習 次回学習範囲のテキストの一読。(20分) 事後学習 配布資料の整理と復習、課題の演習を行う。(40分)	
	各コマにおける授業予定	住宅改修・建築 ① 公式テキスト第5章の内容を、要点確認と問題演習を通して学習していく。				
第5回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	②福祉住環境整備の共通基本技術、生活行為別福祉住環境整備の手法について説明できる。		教科書、配布資料	事前学習 次回学習範囲のテキストの一読。(20分) 事後学習 配布資料の整理と復習、課題の演習を行う。(40分)	
	各コマにおける授業予定	住宅改修・建築 ② 公式テキスト第5章の内容を、要点確認と問題演習を通して学習していく。				

授業の方法		内容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	③生活行為別の福祉用具活用について説明できる。	教科書、配布資料	事前学習 次回学習範囲のテキストの一読。(20分) 事後学習 配布資料の整理と復習、課題の演習を行う。(40分)
	各コマにおける授業予定	福祉用具 ① 公式テキスト第6章の内容を、要点確認と問題演習を通して学習していく。		
第7回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	③生活行為別の福祉用具活用について説明できる。	教科書、配布資料	事前学習 次回学習範囲のテキストの一読。(20分) 事後学習 配布資料の整理と復習、課題の演習を行う。(40分)
	各コマにおける授業予定	福祉用具 ② 公式テキスト第6章の内容を、要点確認と問題演習を通して学習していく。		
第8回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	④障害のとらえ方と自立支援のあり方を理解する。	教科書、配布資料	事前学習 次回学習範囲のテキストの一読。(20分) 事後学習 配布資料の整理と復習、課題の演習を行う。(40分)
	各コマにおける授業予定	リハビリテーション・医療 ① 公式テキスト第2章の内容を、要点確認と問題演習を通して学習していく。		
第9回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	⑤疾患・障害の特徴や生活上の問題、必要な福祉住環境整備を説明できる。	教科書、配布資料	事前学習 次回学習範囲のテキストの一読。(20分) 事後学習 配布資料の整理と復習、課題の演習を行う。(40分)
	各コマにおける授業予定	リハビリテーション・医療 ② 公式テキスト第3章の内容を、要点確認と問題演習を通して学習していく。		
第10回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	⑤疾患・障害の特徴や生活上の問題、必要な福祉住環境整備を説明できる。	教科書、配布資料	事前学習 次回学習範囲のテキストの一読。(20分) 事後学習 配布資料の整理と復習、課題の演習を行う。(40分)
	各コマにおける授業予定	リハビリテーション・医療 ③ 公式テキスト第3章の内容を、要点確認と問題演習を通して学習していく。		
第11回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	⑥高齢者や障がい者を取り巻く社会状況と住環境について説明できる。	教科書、配布資料	事前学習 次回学習範囲のテキストの一読。(20分) 事後学習 配布資料の整理と復習、課題の演習を行う。(40分)
	各コマにおける授業予定	介護・福祉と社会状況 ① 公式テキスト第1章の内容を、要点確認と問題演習を通して学習していく。		
第12回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	⑦福祉住環境コーディネーターの役割と職業倫理を説明できる。⑧相談援助の基本的視点と方法、福祉住環境整備に関わる関連職種について説明できる。	教科書、配布資料	事前学習 次回学習範囲のテキストの一読。(20分) 事後学習 配布資料の整理と復習、課題の演習を行う。(40分)
	各コマにおける授業予定	介護・福祉と社会状況 ② 公式テキスト第1・4章の内容を、要点確認と問題演習を通して学習していく。		
第13回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	①福祉住環境コーディネーター2級認定試験の合格。目標②～⑧	教科書、配布資料	事前学習 次回学習範囲のテキストの一読。(20分) 事後学習 配布資料の整理と復習、課題の演習、模擬試験に向けた復習を行う。(40分)
	各コマにおける授業予定	実習		
第14回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	①福祉住環境コーディネーター2級認定試験の合格。目標②～⑧	教科書、配布資料	事前学習 模擬試験に向けた復習。(20分) 事後学習 これまでの学習内容の再整理。(40分)
	各コマにおける授業予定	実習		
第15回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	①福祉住環境コーディネーター2級認定試験の合格。目標②～⑧	教科書、配布資料	事前学習 模擬試験に向けた復習。(20分) 事後学習 これまでの学習内容の再整理。(40分)
	各コマにおける授業予定	実習結果の発表		